

# 平成 29 年度事業計画

一般社団法人 日本聴導犬推進協会

事業期間：平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

事業拠点：埼玉県ふじみ野市亀久保 2201

役員：理事 9 名 監事 1 名 理事会：4 回開催 総会：2 回開催

事業担当職員：7 名

一般社団法人日本聴導犬推進協会として 3 年目の活動年度を迎える。平成 29 年度は、会員を増やすことに力を入れ、財政状況を安定させると共に、公益社団法人化を目指すことに力を入れる。

## 1. 候補犬の導入及び育成に関する事業

### 1. 候補犬の育成

大阪のユーザーの代替を 10 月末の認定を目標に合同訓練を実施。東京の新規ユーザーに年度末の認定を目標に合同訓練を実施。

来年度認定に向けて 1 頭の候補犬を育成（基礎訓練・聴導動作訓練を実施）

### 2. 候補犬の導入

2 頭の候補犬を導入予定（成犬・子犬問わず）

提携 16 か所に対し、候補犬導入希望を伝え、状況によっては評価を実施する。

遠方は、ビデオ判定できるように協力要請を行う。また、他の補助犬事業者のキャラアレンジ犬を譲渡してもらえるように提携先に打診する。

### 3. 希望者相談・希望者対応

新規希望者の獲得に関して、普及啓発活動中にはあまり実施しない。問い合わせや相談があった際は、順次対応できるように調整する。また、相談継続中の希望者に関しては、状況の確認を行いながら調整を行う。

## 2. 聴導犬の普及・啓発に関する事業

### 1. 聴導犬の講演及びデモンストレーション

P R 活動が不足しているため、講演やイベントの実施内容を精査し、普及啓発効果の高いものを選択しながら実施する。

### 2. インターネット系普及活動

S N S を利用した啓発活動を継続して行うと共に、内容を充実させ普及啓発の促進や寄付獲得に繋げられるようにする。

### 3. マスコミ取材

取材内容に沿った対応を行い、聴導犬の普及啓発を促進させる。

## 3. 聴導犬の貸与・再訓練に関する事業

### 1. 聴導犬の貸与

継続貸与 5 頭。

2. ユーザーフォロー

引退時期の決定や生活状況の変化を確認しながら、必要なフォローを行う。

4. 一般への引退犬・キャリアチェンジ譲渡事業

候補犬から 1 頭 昨年度からの引継ぎ 1 頭

5. 聴導犬訓練士の育成及び認定に関する事業

1. 高校の授業協力

都内高校ペットコースに対し、カリキュラムを組み聴導犬の訓練に関する授業指導と手話に関する指導を実施。文化祭での発表でデモンストレーションを行う。手話に関しては、手話検定を受験し、受講者が合格できるように指導する。

6. その他

1. 会員

現在の会員数の 20 %増やす

2. 街頭募金

天候に左右されない活動場所を確保し、年間 45 回程度実施

3. 募金箱の設置

130 か所の設置場所を確保する。

4. 企業提携

寄付システム及び募金システムを導入している企業・団体と提携し、寄付金の獲得に努める。

5. 企業 C S R

企業の C S R 活動への協力を積極的に行い、普及促進や寄付の獲得を図る。

6. 寄付付き自動販売機

コカ・コーラ、サントリー、西武商事の 3 社が展開し、全国 10 か所設置。新規設置個所を 2 か所増やす。

7. 物品寄付

犬に関する支援を増やし、日常の管理用品を貯えるようにする。切手や金券・テレフォンカード等に関しては、通年通り募集を行う。また、寄付件数を増やすために、普及啓発活動場面等で、積極的に広報を行う。

8. 物品販売事業

各種イベント会場及びインターネットサイトによるオリジナルグッズの販売を実施。